

令和4年7月1日

保護者の皆様

京都市立向島秀蓮小中学校
校長 上野政弘

京都市小学校「大文字駅伝」大会の休止等について

平素より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、昭和62年から実施し、京都の冬の風物詩として市民に親しまれてきた京都市小学校「大文字駅伝」大会について、当面の間休止することが決定されました。

「大文字駅伝」大会については、スポーツを通じて、児童の健全育成を図ることを目的に、全国でも珍しい公道を使用した小学校の駅伝大会として広く認知され、大会出場を目指して子ども同士が切磋琢磨し、協力し合う態度の育成、さらに、自然豊かな京都五山の麓を走りながら、京都の歴史や文化について理解を深めることができますなど、たいへん意義深い取組であり、参加した子どもたちの良き思い出となっていました。その一方で、校内での取組が予選突破を目標にした走力のある一部の児童を対象としたものになっていることや、予選突破を目指す学校と予選に参加するだけの学校の二極化が進んでいること、指導者間によってスポーツ医学の知識に差があり適切な練習法が実践されていないことなどの課題もあり、教育委員会においても、こうした課題の解決に向け、練習時間を規定する部活動ガイドラインの策定や、指導者への講習会などに取り組んできたところです。

さらに、令和2年度からは、小学校長の代表もメンバーとなる「在り方検討会議」において、「大文字駅伝」大会の意義や目的を大切にしながら、児童の健康と体力向上や適切な運動の習慣化に向けたより良い取組の在り方について、「大文字駅伝」大会の中止ありきではなく、様々な方策について議論が重ねられました。こうした議論の結果、「大文字駅伝」の取扱いについては、当面の間休止として、引き続き検討を継続することとした上で、学校規模等に関わらず、児童一人一人が自ら設定した目標に向かって継続的に取り組むことができ、希望するより多くの児童が本大会に出場できる取組や児童の体力向上につながる取組を新たに実施することと致しました。

なお、6年生を対象とした新たな取組として、下記の大会の実施が予定されています。詳細な内容については、令和4年9月を目途に決定する予定とされていますので、改めて、保護者の皆様にはお知らせさせていただきます。

【令和4年度の実施予定】(※詳細は9月を目途に決定します)

ア 校内1,000m記録会(10月～1月)…全校実施。全市交流会の予選会の位置づけ

イ 全市1,000m交流会(2/12)…参加標準記録突破者を対象に「たけびしスタジアム京都」で
実施予定